月刊　かわごえ環境ネット

2014年3月号 No.089　　http://kawagoekankyo.net

2014 年 3 月 1 日発行

編集・発行：かわごえ環境ネット

目次

川越の自然を訪ねて（18）自然観察会に参加して想う ……2

【特別寄稿】フライブルク市等のドイツの環境政策（その 1：エネルギー） ‥ 3-5

「第 12 回かわごえ環境フォーラム」開催報告速報…… 5-6

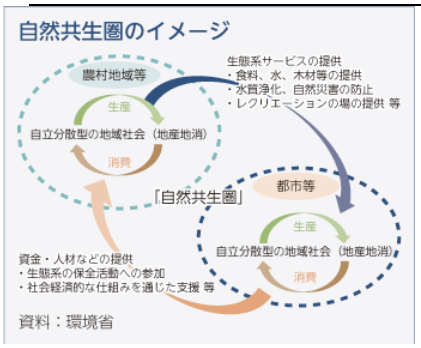
会員からの報告（1 題） ……7

理事会・専門委員会からの報告（3 題） ……8

おしらせ・広報委員会からのおしらせ …… 8-11

イベントカレンダー …… 12

【巻頭言】命のゆりかご－地域の生き物環境－を私たちと子孫のために残したい



自然共生圏のイメージ（環境省）

2020 年というと何を思い浮かべますか。そう東京オリンピックではなく、COP10 名古屋で合意された生物多様性保全の目標達成時期です。

生物多様性と私たちとの関係はどうなのでしょうか。その生物多様性は、温暖化で問題になっている気候の不安定を防ぎ、未来の病気の予防に対する遺伝子プールや毎日の生活の食料生産する役割を担い、またストレスを癒すなど自然と生き物がもつ生態系サービスを私たちに与えてくれています。

その金額は、現在の技術でまかなおうとすると森林の持つ機能を発揮するだけでも 70 兆円を超えると試算されています。もちろん金額だけではなく未来への遺産と考えるとプライスレスの大きな役割を果たしています。つまり、生きていくうえで私たちは自然の制約を逃れることはできない生物である自覚をもう一度持つ必要があります。

川越には現在、約 50%の水田・畑という二次的自然と数%の平地林と河畔林が存在しています。農地は人が手を加えて 1000 年以上も継続して利用してきた二次的自然です。これを環境保全型や生物多様性保全型農業に転換するだけで多くの生き物が絶滅から再生することができるでしょう。

トキやコウノトリ、メダカや草原のチョウを絶滅から守る取組が進んでいます。この流れを大きくして、絶滅してから悔やむのでなく、今できる取組を地道に行い、生態系サービスを保全しつつ、しなやかな地域を作ることが大切でしょう。

川越の地から 2020 年を目標に、生き物の多様性を持続する行動を実践したいものです。

かわごえ環境ネット　理事　過昌司

川越の自然を訪ねて（18）自然観察会に参加して想う

「(仮称) 川越市森林公園」計画地での自然観察会は常時、十数名で動植物の観察や森の保全作業を献身的に実施しております。四季を通じて大自然の中を歩き、地味ではありますが、有意義な活動を続けております。

私も体力維持のため、努めて山野を歩きたく老体鞭を入れてお仲間に入れていただき喜んでおります。せっかくオゾン豊かな雑木林の中を歩けるチャンスを生かして、直接肌で感じたまま、俳句や川柳を詠んだり、また景色をスケッチしたりしています。これも歳時記や日記のつもりで続けており、駄作ながら若干記してみました。お笑いください。

一月十四日
傘の雪　払いつつ巡る　観察会
成人の　白足袋濡らす　牡丹雪

二月十一日
堅き芽が　春の待たるる　山桜
蜘蛛の子が間借りしている巣箱哉

三月十一日
森に咲く　鶯（うぐいす）神楽（かぐら）の美しさ
春一番　黄砂花粉の挟み撃ち

七月八日
干天の慈雨ありがたや野草たち
早々と萩とリンドウ　庵前

九月九日
権萃（ごんずい）の赤き実ゆれる秋の風
雑木山　つくつく法師声高し
雨上がり　妖精賑わう茸山

九月二十日（白金自然教育園）
黒松が泰然自若　江戸語る
すだ椎の　巨木の下の吾木香
無患子（むくろじ）が　台風一過　路塞ぐ

十二月九日
三富の雑木林は冬支度
葉は落ちて冬芽備えて森静か
正月に　蔓梅擬（つるうめもどき）　飾りたや

一月十三日
自然部会作戦を練り幕を開け
観察会　寒波厳しき成人の日

（かわごえ環境ネット会員　鶴巻史朗）

【特別寄稿】

フライブルク市等のドイツの環境政策（その 1：エネルギー）

中口毅博（個人会員）

私は本務先の大学から 1 年間の研究休暇をいただき、愛媛県内子町役場環境政策室に勤務し、同町の取り組みを勉強しつつ実践していますが、12 月からの 2 か月間は、環境首都として日本では最も著名なフライブルク市に滞在してきましたので、3 回に分けてそこで得た情報を紹介したいと思います。その 1 回目は「エネルギー」です。

フライブルク市は、人口 23 万人、面積 153k m^2 で、人口は川越が約 1.5 倍なのに対し、面積は逆にフライブルクが約 1.5 倍です。多くの大学があり、留学生も多いです。保守的なドイツ南部にあって市長や議会第 1 党は緑の党で、第 2 党の保守の CDU と連立を組んでいます。

フライブルク市のエネルギー政策の起点となったのは、1975 年に近郊のヴィールに原発を建設する計画が持ち上がり、反対運動が起きたことです。ドイツ最大の環境保護団体ブントなどを中心にデモや工事阻止などの実力行使が行われました（ドイツではどこでも普通にデモを見かけます)。フライブルクのすごいところは、単に反対運動だけではなく、これをきっかけに市民がエネルギーの代替案を考えはじめ、自然エネルギーに関する勉強会や集会を積み重ねたことです。こうしたことを背景に 1980 年代からソーラーシステムを設計・開発する研究所や企業が集積し始め（例えばエコ研究所、フランホーファー研究所、ソーラーパブリック社など)、またエネルギーエージェンシー(コンサルタント)が 200 ぐらい設立され、大きな雇用機会を提供することになったのです。再生可能エネルギーや省エネルギーを推進する市民団体はいくつかあるのですが、その中で、エコトリノヴァという団体が、主要なプロジェクトについてまとめており、そこを頼りにいくつかの施設を訪問しました。

最初に紹介するのはフライブルク FC の本拠

写真 1　フライブルクの位置

写真 2　今回紹介する場所

写真 3　サッカースタジアムの太陽光発電

となっている東部のサッカースタジアムです。ドイツ人のサッカー狂ぶりはすごいのですが、フライブルクはまだおとなしいほうで、ケルンに行ったときはホテルの地上階がサッカーパブで夜通しドンチャン騒ぎで寝られなかったです。

さてそのフライブルクのサッカーファン 158 人がお金を出し合ってスタジアムの屋根一面にソーラーを作ったのは 1994 年のことで、当時世界初だったそうです。日本でも主催者中心の取

り組みはやっていますが、環境にそれほど関心のないと思われるサッカーファンでも出資するというのは、やはりドイツだなあと思います。

ここから歩いてしばらくのところにドライザム川があり、2 か所に小水力発電設備が設置されていますが、これは市民出資ではなく特定個人が設置したとのことです。本流を止めるのではなく脇に一部の水を引き込むタイプです。

また、スタジアムから山稜を見上げると、4 基の風力発電装置が見えます。フライブルク全体では 6 基の風車があり、すべて市民出資です。

ドイツ全体でみると全発電容量の 4 割を市民出資、1 割を農家の出資が占めており、草の根の出資が普及の原動力になっています。また市民がエネルギー協同組合をつくり、そこに出資して設備を保有します。このような組合は 2012 年末で 754 あり、13.6 万人もの組合員がいるそうです。もともとドイツは市民活動に参加したり寄付したりするのがあたりまえの風土ですし、行政が事務局経費を補助するなど制度も整っています。

以上のような、市民主体の再生可能エネルギーの導入はドイツではどこにもあることで、フライブルクの特徴はむしろ建築物の省エネにあります。まず住宅についてみると、フライブルクの住宅ストックは 1890 年（産業革命）以前が 1/3、1955～65 年の高度成長期が 1/3、1970 年以降が 1/3 であり、このうち高度成長期のものをいかに改修するかが課題といえます。この時代のストックを保有者別にみると、市営住宅 25%、住宅組合 25%、民間ディベロッパーが 25%保有し、残りは個人の戸建てとなっています（持ち家率は 20%と非常に低いです）。まず、多くのストックを持つ市が率先しようということで、市営住宅の大規模な改修が行われています。

私はその典型例である西部のヴァインガルテン地区を歩きました。ここは高齢化に伴い住居面積を 120m^2 から 60～70m^2 へ縮小するとともに、パッシブハウス化（屋根裏や床下の冷気や暖気を循環させるもの）と断熱を進めることで、

写真 4 ヴァインガツテン地区の省エネ改修

写真 5 ヴィクトリアホテル屋上の太陽光発電

写真 6 ヴォーバン地区のコジェネエネルギー

消費量を 80～90%削減しています。

私が訪問したときは地元の工務店のおじさんが作業していました。新築よりも既築の改修のほうが人手はかかるので、地元の雇用確保につながるという一石二鳥になっています。フライブルク周辺では戸建てでも新築の建設現場はほとんど見かけませんでしたので、市が政策的に改修へのシフトを誘導していると推測されます。

一方、地域暖房がドイツ全土で導入されてい

ますが、フライブルクはその 55%でコジェネレーション（熱と同時に電気を発生させるものでエネルギーの 8 割を使い切るシステム）が導入されています。ドイツ全土で 20%といいますからこれは驚異的な数字です。計画的市街地であるヴォーバン地区では、木質チップによるコジェネレーションが導入されています。

業務用建築物でも省エネ改修が進んでいますが、そのひとつ、ヴィクトリアホテルを訪れました。ここの本館は 1875 年に建てられたというもので、現在の支配人は 3 代目です。太陽光発電、太陽熱、木質ペレットボイラー、地下水冷熱利用といったあらゆる再生可能エネルギーを導入しているだけでなく、建物全体をパッシブ化し、照明も LED にするなど、省エネで消費量を削減するのをセットに実施することで、化石燃料使用ゼロを実現しています。これらの取り組みには先に述べたエネルギーエージェンシーや市民団体が省エネ改修についてアドバイスした成果であり、このような民間の人材や組織が存在することが先進的なエネルギー対策を実現しているキーになっていると思いました。

ドイツでは 100%再生可能エネルギー地域連合が形成されており、加盟する 138 の自治体の人口合計はドイツ全体の 1/4、2,100 万人に達しています。すでにエネルギー自立を達成した村もかなりあり、ミュンヘンのような大都市でもスペインやスコットランドに風車を立てて自給する計画を立てています。

私が事務局長を務める環境自治体会議（現在 53 市区町村が加盟）では、まさに日本版のエネルギー自治体連合の設立を目指し、他の市民グループなどと協議を進めています。川越は残念ながら一昨年環境自治体会議を脱会してしまいましたが、今後はこうした流れに加わってほしいものです。

「第 12 回かわごえ環境フォーラム」開催報告速報

2 月 22 日（土）9:20-16:30 に第 12 回かわごえ環境フォーラムが川越市環境プラザ「つばさ館」において開催されました。本誌に速報、次号（2014 年 4 月号　No.090）に詳報を掲載します。

かわごえ環境フォーラムは、年に 1 度、環境活動を実践している本会会員や市民・団体等が集まり、環境活動の報告、講演会の開催、分科会による討論会などを行うものです。各々の環境活動と役割を相互に理解し、川越市の望ましい環境像実現のための取組がいっそう活発になることを目的としています。参加者は 85 名でした。

午前の部　環境活動報告会（9:20-11:45）

本会理事長である小瀬博之の開会で始まり、午前中は環境活動を実践している 12 組の市民や団体による活動報告が行われました（表）。自然環境や環境教育、農業の問題など様々な分野について、写真や映像などを交えながら発表を行い、各々10 分間という限られた時間のなかではありますが、会場からの質問にも答えていました。

表　環境活動報告会プログラム

1	ふくはら子どもエコクラブ『地元の自然を基本に、農業と文化のつながりを知る』
2	過昌司『循環型農業と雑木林の生態系について』
3	増田純一『かわごえ吉田・笠幡里山イニシアチブ 』
4	松岡壽賀子（ネットワーク『地球村』川越）『禍小さく、懐暖かく』
5	築山とみゑ（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会（みなみかぜいきいき田んぼの会））『田んぼ発 いきいき地域づくり』
6	飯島希（こどもの根っこを育てる会）『協働事業－保育園年長児への環境教育「森のムッレ教室」－』
7	谷津弘子（NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会）『国営武蔵丘陵森林公園における自然保護活動』
8	関根友也・小瀬博之（東洋大学）『大学、行政、農家の連携による遊休農地の再生に関する研究』
9	森本貴大・小瀬博之（東洋大学）『地域づくりにおける協働と学生の参加に関する研究』
10	大塚貴彦・小瀬博之（東洋大学）『都市化する集落の習俗と自然環境の変化～川越市名細地区を事例として～』
11	賀登環（自然環境部会代表）『自然環境部会を中心とした活動』
12	原嶋昇治（社会環境部会代表）『社会環境部会を中心とした活動』

午後の部　フォーラム

基調講演（12:45-14:00）

福岡義隆先生（広島大学名誉教授、立正大学名誉教授）の講演「都市の暑さを緑地が体感的に緩和できるか～川越市について考える」が開催され、サーモグラフィーによる観測結果などを交えながら、緑がもたらす暑さの緩和効果などについて、熱心にご講演をいただきました。

分科会（14:10-16:10）

社会環境部門「かしこいエコぐらし」、自然環境部門「生物多様性地域戦略」、提案部門「川越におけるエコツーリズムの可能性を考える」と題した 3 つの分科会に分かれ、各人が希望する分科会で約 2 時間にわたり討論を行いました。提案部門については、飯能市エコツーリズム推進室の大野悟室長をお招きし、飯能市の取組について紹介していただきました。

最後に参加者が一堂に集まり、各分科会での検討結果を報告し、金子晃副理事長の閉会の言葉で締めくくりました。

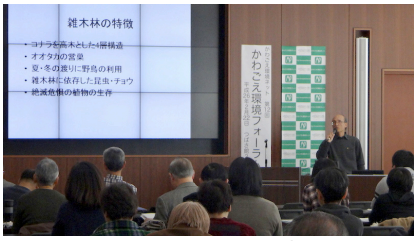
ポスター展示

かわごえ環境ネット、ふくはら子どもエコクラブ、過昌司氏、みなみかぜいきいき田んぼの会、こどもの根っこを育てる会、ネットワーク『地球村』川越の 6 者のポスター等の展示が 3 階ロビーでありました。

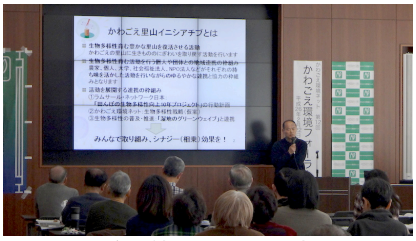
謝辞

本行事の実施には、川越市の後援並びにパイオニア株式会社川越事業所、トーヨーケム株式会社、初雁興業株式会社、武州ガス株式会社、株式会社環境総合研究所、武州製薬株式会社、川木建設株式会社の 7 社に協賛いただきました。

ふくはら子どもエコクラブの発表



過昌司さんの発表



増田純一さんの発表

松岡壽賀子さんの発表

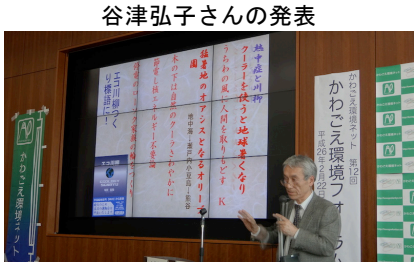
築山とみゑさんの発表

飯島希さんの発表

谷津弘子さんの発表

森本貴大さんの発表

大塚貴彦さんの発表



福岡義隆先生の基調講演

提案部門分科会の様子

ポスター展示の様子

（小瀬博之、かわごえ環境ネット事務局）

会員からの報告

川の再生交流会に参加して

上田知事と参加者との記念撮影

1 月 13 日（月・祝日）さいたま市民会館うらわで行われた「川の再生交流会」に参加しました。月刊かわごえ環境ネット 12 月号の参加要請の記事を見て参加することを決めました。

登壇した方々の印象は、

①埼玉県立松山女子高等学校箏曲部

演奏は沢井忠夫作曲「花（はな）筏（いかだ）」

花水面（はなみなも） 流れる箏（そう）の音（ね） 息遣い（いきづかい） 奏（かな）でる箏列（そうれつ） 団結（だんけつ）の風（かぜ）

（ルビの先頭をつなげると「はないかだ」）

②ムジナモの保護・増殖活動（羽生市立三田ケ谷小学校 6 年生）

満たす夢 ムジナンの池で 皆で知る 小さな心で 大きな成果

③人が寄る~奇跡の魚~（埼玉県立深谷第一高等学校・熊谷市ムサシトミヨをまもる会）

元荒川 ムサシトミヨを 育て知る 多くの人の智 日々の努力で

④DECO の挑戦~伝右川浄化プロジェクト~（獨協大学・国際団体 DECO）

捨てた物 生かす学生 知らせ知る 伝右川再生 三つの技で

※三つの技は貝殻・活性炭・葭（あし）の活用

⑤垳川の復活を夢見て（やしおの川をきれいにする会）

崖っぷち ヘドロ調査で 清掃に 浚渫流差で 蘇る川に

⑥川の再生の取り組みについて（埼玉県県土整備部水再生課）

百プラン 水辺再生 集まる智 人を集め 実りを育てる

午後は第 5 分科会（多自然の川づくり）に参加しました。2 名の方の発表と全体の印象です。

⑦自然を生かした川づくり（黒目川の事例から）

川づくり 専門の智慧 住民の智 水面で楽しむ子どもも存在

⑧荒川太郎右衛門地区自然再生事業（荒川上流河川事務所）

サシバ飛ぶ 川の様々 未来への 水面再生 多様性求め

⑨全体を通しての印象

昔住む 生物再生 努力の輪 外来種の無い 憧れの川

かわごえ環境ネットも PR しました。責任者の方につばさ館で手に入れたガラスの皿、かわごえ環境ネットの宮澤さんからいただいたドングリの顔等を使った川の営みをテーマにした作品をかわごえ環境ネット二見正憲と書いた紙とともに渡しました。

不老川流域川づくり市民の会代表の丸橋さんから不老川だより「川のささやき」66 号をもらいました。

不老川上流では理想に向かって川づくりが進められているのに新河岸川との合流地点ではときどき水無川になっていることに気がつきました。川の再生は上流から下流までそれぞれの住民や再生を願う方々の気持ちを生かして、川全体を再生するプラン作りと実行が大切だと感じました。

記念に川の国応援団の T シャツをもらいました。夏の清掃作業に活用したいと思ってます。

（二見正憲）

（編者注）川の再生交流会は本誌 2 月号でお伝えしましたが、今回、二見様から投稿いただきましたので改めて報告いたしました。

理事会・専門委員会からの報告

理事会・事業運営委員会

第11回理事会及び第11回事業運営委員会(第10回はかわごえ環境フォーラム前日準備）を 2 月 28 日（金）9:00-12:00 に福田ビル 3 階において開催しました。理事会は出席 8 名・委任 2 名、事業運営委員会は出席 10 名でした。連続する会議なのでまとめて報告します。主な議事は次のとおりです。

①役員改選の手続き、会則の改正項目を決定しました。会員には本紙に「理事立候補者募集のお知らせ」を同封しました。

②次年度の事業計画について、川越市環境部主催事業とその日程を確認するとともに、本会主催の全体事業の内容と期日について確認しました。7 月 19 日開催予定の「エコプロダクツ川越 2014」への出展、2 月 21 日開催予定の「かわごえ環境フォーラム」の実施に際して、適切な時期に実行委員会を組織することにしました。

③その他の全体事業として、「川越市環境基本計画・かわごえアジェンダ 21 見直し勉強会」の定期開催（かわごえアジェンダ 21 推進委員会管掌)、まち美化活動（郊外 7 月 20 日、川越まつり 10 月 18・19 日、歳末 12 月 23 日）の実施、第 10 回川の一斉水質調査の実施（6 月 8 日)、第 16 回アースデイ・イン・川越の出展等協力（10 月 5 日)、第 14 回北公民館かんきょう祭りの出展（11 月 8 日）があげられました。

詳細は、3 月 26 日に実施する拡大企画会議で調整することになりました。

④2 月 22 日開催の第 12 回かわごえ環境フォーラムの実施報告並びに反省、次回に向けての改善点について議論しました。協賛企業には直接理事が御礼に訪問することにしました。なお、「環境活動報告集」入用の方は事務局に問い合わせください。

⑤2 月 9 日開催の「第 9 回川でつながる発表会」の開催報告がありました。詳しくは本紙 4 月号で報告します。

⑥川越環境保全連絡協議会主催の新春講演会における後援等名義使用許可申請を承認しました。

（小瀬博之）

社会環境部会

2 月の例会は、14 日（金）市役所地階修養室にて 9 名の出席者で会議を進めました。

フォーラム時は、部会メンバーが業務分担するため確認を行いました。また、分科会への出席依頼をするとともに進行計画をたてました。目的は、参加者全体で意見交換を行い「かしこいエコぐらし」を実行できるヒントが得られれば良いのではないかということになりました。

予算の活用については、計数カウンター（ごみの数を)、ワットチェッカー（消費電力などの数値を瞬時に計測)、環境啓発用パネル作成、ゼッケン（清掃活動などで使用する）を購入し活用することにしました。

次年度の体制について意見交換をしましたが結論を出すまでには至りませんでした。

（社会環境部会代表　原嶋昇治）

自然環境部会

2 月定例会は市役所地下修養室にて 7 名の参加で開催されました。先週に次いでの大雪情報で参加者は少なめでした。

①活動報告

・「（仮称）川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動

1/13 は来年度の話し合い、1/27 は第 2 ふれあいの森の保全作業・冬芽の観察、2/10 は大雪のため活動中止。

・池辺公園定例活動（2/4）小雨の中 4 名参加

絶滅危惧種ハグロソウ周辺のノイバラやアズマネザサの除去など保全作業

②環境フォーラム分科会の内容検討

・川越における生物多様性保全の現況について問題提起・事例報告　概ね準備ができました。

③月刊かわごえネット「川越の自然を訪ねて」

4 月号以降の分担話し合い

④次年度の方針、計画のあらまし

話し合いました。具体的な内容は次回。

（自然環境部会代表　賀登環）

おしらせ

【再掲】「第 18 回荒川流域再生シンポジウム」3 月 16 日（日）開催

荒川流域ネットワークでは、2014 年も「天然溯上のアユで溢れる流域の再生を語る」をメインテーマに､「荒川流域再生シンポジウム＆みずかけ“サ”論」を開催いたします。

今回は、5 年間のアユの標識放流調査と流域一斉水質調査の結果、現在進められている入間川での溯上環境改善事業を報告するとともに、荒川流域でのアユの自然溯上復元への取組と生息環境改善について語り合います。

日時：3 月 16 日（日）12:30 開場、13:00 開会、16:40 終了

場所：国立女性教育会館（東武東上線武蔵嵐山駅徒歩 12 分）

プログラム

12:30	受付開始
13:00	主催挨拶、来賓挨拶
13:15	活動報告①「2013 年度のアユ溯上環境調査の結果と 5 年間の調査結果報告」
14:00	活動報告②「2013 年度荒川流域一斉水質調査の結果報告」
14:20	活動報告③「新河岸川水系でのアユ復活への取組み」
14:40	事業報告「入間川における魚道設置事業について」
15:00	休憩
15:10	みずかけ“サ”論① テーマ「天然溯上のアユで溢れる流域の再生を語る」
16:10	みずかけ“サ”論②自由討論
16:40	閉会の挨拶

詳細は、荒川流域ネットワークホームページをご覧ください。http://arariver-info.seesaa.net/

かわごえ環境ネット主催行事（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

＜会合＞

●社会環境部会（2014 年 3 月度）

日時：3 月 14 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

●自然環境部会（2014 年 3 月度）

日時：3 月 14 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

両部会は、毎月第 2 金曜日の 13:00-15:00, 15:00-17:00 の連続開催です。次回は 4 月 11 日（会場は福田ビル 3 階会議室）です。会員であれば自由に出席できる話し合いにご参加ください。

◆広報委員会（2014 年 3 月度）

日時：3 月 18 日（火）9:00-10:30

場所：川越市役所 5 階フリースペース（川越市元町 1-3-1）

次回は 4 月 17 日（木）9:00-10:30 に開催

◆拡大企画会議

日時：3 月 26 日（水）9:00-12:00

場所：川越市役所 7E 会議室

出席者：正副理事長・専門委員会代表・会計

◆理事会（2013 年度第 12 回）

日時：3 月 28 日（金）9:00-10:30

場所：福田ビル 3 階会議室

次回は 4 月 16 日（水）13:30-15:30（15:30-17:00 に事業運営委員会）､次々回は 4 月 22 日（火）9:00-12:00 に開催

◆かわごえアジェンダ 21 推進委員会（2013 年度第 2 回）

日時：3 月 28 日（金）10:30-12:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＜自然環境の調査・保全活動＞

★池辺公園定例活動（毎月第 1 火曜日）

日時： 3 月 4 日・4 月 1 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：菅野

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全活動

日時：3 月 10 日・24 日，4 月 14 日・28 日（月）9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）9:30

（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）、事前連絡はいりません。

内容：3 月 10 日（月）保全作業（武蔵野ふれあいの森）、3 月 24 日（月）調査・観察会（ウグイスカグラ等早春の花）、4 月 14・28 日（月）調査・観察会（スミレ類、ウワミズザクラ等）

＜公開イベント＞（詳しい情報は記事をご覧ください）

★【関連事業】第 18 回荒川流域再生シンポジウム

日時：3 月 16 日（日）13:00-16:30

場所：国立女性教育会館（嵐山町菅谷 728）

会員・関係団体の主催行事

●クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：武田侃蔵

（Tel.090-2521-5770, Fax.049-222-0786）

☞「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

1. 第 1 火曜日・第 3 木曜日（13:30-15:00）

◆3 月 4 日（火）・20 日（木）

◆4 月 1 日（火）・17 日（木）

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

2. 第 2 日曜日（9:30-11:00）

◆3 月 9 日（日）・4 月 13 日（日）

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

3. 第 4 土曜日（13:30-15:00）

◆3 月 22 日（土）・4 月 26 日（土）

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

☞「川の国応援団・新河岸川市内流域の清掃」

原則として第 4 日曜日 9 時より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田（090-2521-5770）へご連絡ください。

◆3 月 23 日（日）9:00-11:00

旭橋・川崎橋に分かれて集合。新扇橋から養老橋まで、市内の下流域を担当。新河岸川広域景観づくり連絡会の流域一斉清掃活動に協力。地元自治会にも協力呼びかけ。連絡は武田まで。

◆4 月 27 日（日）9:00-11:00

上流起点近くの八幡橋集合。上・下流清掃。

☞新河岸川旭橋周辺で舟と寺尾調節池見学

◆4 月 29 日（祝）9:30-15:00

旭橋右岸たもとに集合。治水事業で周辺の変貌の実態や舟乗り、寺尾調節池周辺見学等。参加費 300 円（資料・保険代）。クリーン&ハートフル川越と西温ネットの共催。

●NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

☞森林公園かんさつ会

◆3 月 23 日（日）公園主催,考える会協力

公園南口から入園後受付。入園料要、10:30 開始、15:30 ごろ終了

◆3 月 28 日（金）考える会主催

国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所（入園前受付）10:20 集合、15:30 ごろ終了解散、入園料要、参加費 200 円、お弁当持参。雨天決行。

水辺の生き物や春の花を探しましょう。植物の解説は、太田先生です。

◆4 月 9 日（水）・4 月 27 日（日）考える会主催

国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所（入園前受付）10:20 集合、15:30 ごろ終了解散。入園料要、参加費 200 円。お弁当持参。雨天決行。

野鳥のさえずりを楽しみながら、春の花やミヤマセセリ（チョウ）などの昆虫類を観察しましょう。植物の解説は、太田先生です。

●福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

☞おいしく・楽しく農業体験

◆3 月 8 日（土）9:30 ごろ-12:30 ごろ

雑木林手入れ、焼き芋・スープ・あそぼうパン

◆次回は 4 月 12 日（土）9:30 ごろ-12:30 ごろ

集合：明見院（川越市今福 677）

クラブ会費：1 家族 1,000 円（保険代・備品代等）、クラブ員でない参加者は 1 人 100 円（保険代）とします。

●みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会みなみかぜ 後藤（Tel.049-234-8500, Fax.049-239-5646）

会場（集合）：みなみかぜ地域交流センター（川越市吉田 204-2）。

いつからでも、誰でも参加できます。会員になって 1 年通して生きものいっぱいの田んぼで米つくりに、田んぼ生きもの調査、田んぼ遊びに参加ください。

☞農作業

◆毎週金・土曜日の午前中（10:00-12:00）3 月 1 日（土）、7 日（金）、15 日（土）、22 日（土）、28 日（金）、29 日（土）

※11～3 月農閑期は火曜日作業日はお休みです。

☞月例会

◆3 月 8 日（土）10:00-11:30

☞事務局会議

◆3 月 12 日（水）10:00-11:00

☞第 2 回「食と農」懇談会　～農家と消費者が一緒に進める循環型農業と地産地消とは～

◆3 月 14 日（金）10:00-12:00

講師：村岡亘（むらおかもとむ）（ビオ・ゲミューズの会会長）

参加費：300 円

●公益財団法人埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

☞伊佐沼でバードウォッチング（毎月第 2 日曜日）

時間：10:00 集合-12:00（小雨決行）

集合：伊佐沼西岸蓮見橋、解散は集合場所で 12:00 ごろ。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物。参加費：300 円、高校生以下 100 円（保険料・資料代として）

◆3 月 9 日（日）10:00-12:00

草木も芽を出し、春の兆しが見えて来ました。小鳥たちも恋の季節の始まりです。春の陽に誘われて相手を求め、恋の歌、さえずりが聞こえてきます。さあ、恋の歌を聴きに来てください。野草も花を咲かせています。

◆4 月 13 日（日）10:00-12:00

櫻が咲き、沼ではマコモやアシのみどりも伸びてきました。カイツブリのペアが鳴き交わし、近くの田んぼでヒバリが、公園ではシジュウカラが囀ります。春爛漫の季節です。ゆっくり春を楽しみましょう。

●第 16 回アースデイ・イン・川越実行委員会

問い合わせ：武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

☞アースデイ TOKYO2014 見学会

◆4 月 19 日（土）・20 日（日）

代々木公園開催を見学。JR 原宿駅を出て参宮橋前に 9:30 集合。午前は神宮外苑の「緑展」、午後代々木公園の本会場見学。16:00 現地解散。参加費 300 円（資料・保険代等）。3 月 25 日号の「広報川越」で募集。4 月 1 日から先着順 60 人受付。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2014 年 4 月号（No.090，4 月 1 日発行予定）の掲載原稿は、3 月 15 日（土）必着です。電子データでいただけると助かります。原稿と写真は編集担当共有のメールアドレス（koho@kawagoekankyo.net）にお送りください。または、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）にご提出ください。

イベントカレンダー（3 月 2 日～4 月 30 日）

日	月	火	水	木	金	土
3/2	3/3	3/4 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	3/5	3/6	3/7 ◎10:00 農作業（みなみかぜ）	3/8 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ◎10:00 月例会（みなみかぜ）
3/9 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	3/10 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地保全活動	3/11	3/12 ◎10:00 事務局会議（みなみかぜ）	3/13	3/14 ◎10:00「食と農」懇談会 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	3/15 ◎10:00 農作業（みなみかぜ） 〇本誌 4 月号投稿締切
3/16 ◎13:00 荒川流域再生シンポジウム	3/17	3/18 ◆9:00 広報委員会	3/19	3/20 ◎13:30 まち美化啓発運動	3/21 春分の日	3/22 ◎10:00 農作業（みなみかぜ） ◎13:30 まち美化啓発運動
3/23 ◎9:00 川の国応援団 ◎10:30 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	3/24 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地植物調査・観察会	3/25	3/26 ◆9:00 拡大企画会議	3/27	3/28 ◆9:00 理事会 ◎10:00 農作業（みなみかぜ） ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 ◆10:30 アジェンダ 21 委員会	3/29 ◎10:00 農作業（みなみかぜ）
3/30	3/31	4/1 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	4/2	4/3	4/4	4/5
4/6	4/7	4/8	4/9 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	4/10	4/11 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	4/12 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
4/13 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	4/14 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地植物調査・観察会	4/15 〇本誌 5 月号投稿締切	4/16 ◆13:30 理事会 ◆15:30 事業運営委員会	4/17 ◆9:00 広報委員会 ◎13:30 まち美化啓発運動	4/18	4/19 ◎9:30 アースデイ TOKYO2014 見学会
4/20 ◎9:30 アースデイ TOKYO2014 見学会	4/21	4/22 ◆9:00 理事会	4/23	4/24	4/25	4/26 ◎13:30 まち美化啓発運動
4/27 ◎9:00 川の国応援団 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	4/28 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地植物調査・観察会	4/29 昭和の日 ◎9:30 新河岸川旭橋周辺で舟と寺尾調節池見学	4/30	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください		

発行日　2014 年 3 月 1 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/